横浜市立瀬ヶ崎小学校　学校便り
せがさきの風
大きな朝日さしのぼる　希望と愛の花が咲く
世界に窓を開け放つ　ここは　瀬ヶ崎小学校
〒236-0037　横浜市金沢区六浦東三丁目２番１号
TEL 781-2446・2447　FAX 701-4892
ホームページ http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/
メールアドレス y3segasa@edu.city.yokohama.jp

９月号
2019（令和元）年
8月30日発行

未来を創る子どもたち

学校長　梅田　比奈子

夏休みが終わって、学校に元気な笑顔と声が戻ってきました。夏休みの間、子どもたちは、日ごろなかなかできない経験をしたのではないかと思います。お手伝いをたくさんしたり、地域の行事に積極的に参加したり、苦手な事に挑戦する等いろいろな話を子どもたちから聞くことができました。

学校では、夏休み中、４年生～６年生の希望者が参加する区の水泳大会があり、その中から代表で選ばれた６年生が市の大会に男子２００ｍリレーと５０ｍ自由形で出場しました。また、今年は、６年生の代表が、日立環境サミットに向けた取材をするために、小網代の森に出かけました。そして、多くの学年の子どもが地域の盆踊り等に積極的に参加する姿が見られました。私は、それらに参加する子どもたちと接していて、本当に子どもって素敵だなと多くの場面で思いました。緊張している自分を落ち着かせようとしているその表情。なかまの応援に声をからす姿。相手の話を真剣に、そして想いを受けとめようと聴く様子。ひとつひとつの場面で、子どもたちは、一生懸命です。そして・・

学校が始まった８月２６日には、学校運営協議会が開かれ、６年生の子どもたちが、学校運営協議会の方に一緒に考えてほしいことを話しました。子どもたちが話したことは、「アスレの森」についてです。今までのアスレの歴史、現状、そして瀬小の子どもたちの思いと自分たちの願いを基に、「アスレの森」にもっとみんなが行ったり、関心をもったりできるようになるための方法のひとつを示し、共に考えて欲しいと語っていました。学校運営協議会では、主に、瀬小の子どもたちに、もっとこんな力がつくといいなということを話し合い、共通理解をもつことがテーマでしたが、その中でも、子どもたちの発表の内容に触れられ、どんな方法が考えられるかということも議論にあがりました。また、２７日には、金沢区の横浜子ども会議が開催され、金沢区の全小中学校の代表に加えて、高校生も参加して「だれにとっても居心地のよい学校づくり」をテーマに話し合いがなされました。

今、子どもたちは、与えられたことで考えるだけでなく、自分の生きている現状をみつめ、課題を解決していくために、様々なことを考え、発信、行動しています。もちろん、その考えは、大人とは、違って、稚拙なものかもしれません。でも、子どもだからこそ考えられるといったことも多々あると思います。そして、その子どもたちが、未来を、未来の社会を創っていくのです。

この夏、ネパールの学校を訪れる機会を得ました。幼稚園から高校生までが学ぶ学校。震災があって、物資もあまりない中、指先程度の大きさの消しゴムを大事に使い、一生懸命勉強をしていました。中には、一時間以上歩いて学校に通ってくる子どももいるとのこと。でも、その子どもたちも、笑顔がいっぱい。瀬小の子どもたちと重ねつつ、「がんばれ、未来を創る子どもたち。どこの場所でも、みんなの輝きを応援したい。」・・・私たちが子どもたちと一緒に何をすべきか、改めて考えた夏になりました。

夏休み中、様々なボランティア、キッズ、地域の皆さんに支えられました。ありがとうございました。